

2019年2月12日

2019年1月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参関連や取説関連が堅調に推移し、ほぼ昨年並みの動きであった。

（前年比 99.4%）

巻取は一部生保関連に動きが見られたものの、在庫不足などの影響もあり昨年を大幅に下回った。

（前年比 86.4%）

再生紙平判は医療関連の動きや巻取から平判に展開された影響で昨年より上回った。

逆に巻取は在庫不足や官公庁関連での大型案件受注が少なく昨年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 111.1% 再生上質巻取 76.3% 再生上質計 96.2%）

（前年比 印刷用紙 A 96.7%）

<A2 コート>

平判は生損保、金融、証券関連で動きがあったものの、自動車、不動産等の動きが悪く、又先月の仮需の反動もありグロス、マツトとも前年を下回った。

巻取は生損保、目論見書、金融関連で動きがあり品薄状態が続いた。マツト紙を中心に前年を上回ったが A 2 全体を押し上げるには至らず。

（前年比 平判 91.7% 巻取 104.5% 全体 94.2%）

<A3 コート>

学習塾、量販店、金融関連で動きがあったものの、巻取品の品薄による部数減少及び一部平判への移行もあり前年を下回った。

（前年比 平判 108.4% 巻取 86.7% 全体 95.3%）

<ノーカーボン紙>

元号改定に向け、生損保関連をはじめ帳票系で調整の動きが出はじめ、平判は前年を上回ったが、巻取は大きく前年を下回った。

（前年比 平判 101.7% 巻取 78.6%）

<上質フォーム>

官庁関連の動きは一部見られたが、新規等の動きは見られず元号改定の影響もあり前年を大きく下回った。

（前年比 82.5%）

<包装用紙>

特殊両更は役所関係の封筒等で一部動きがあり昨年とほぼ同様の動きとなった。

(前年比 102.4%)

軽包装は生花店向け包装紙、製本会社向け雑包装用途で一部動きがあり昨年を上回った。

(前年比 101.1%)

両更晒は金融関係、通信会社向けの封筒で一部動きがあったが全体を押し上げるには至らず昨年を大きく下回った。

(前年比 89.6%)

色クラフトは鉄道会社向け保存袋、通信会社関係封筒で一部動きがあったが、その他で目立った動きもなく昨を下回った。

(前年比 97.2%)

包装紙合計で 91.7%と前年を下回った。

<板紙>

インバウンド効果が残る化粧品、医薬品関連は順調に推移したものの、白板紙のパッケージは菓子、食品等が低調で特等タバコなどの POP の動きも鈍く全体的には昨を下回った。

(前年比 94.3%)